

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
エステー株式会社	代表執行役社長	鈴木貴子	東京都	製造業	https://www.st-c.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年9月25日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力	取引先や物流業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A	②	予約受付システムの導入	業界標準化を目指し、納品先のテストへの積極的な参加とともに、荷待ち時間の短縮を目指します。
3	A	④	発荷主からの入荷情報等の事前提供	納品先と業界VAN会社との連携により、ASN情報を提供し、納品の円滑化を目指します。
4	A	⑦	運転以外の作業部分の分離	納品先からの情報をもとに、事前仕分けを実施する等、製配販の連携により納品の円滑化を目指します。
5	A	⑩	リードタイムの延長	翌日納品を延長することで、発倉庫での作業と配送の平準化が図れるよう、取引先との協議を推進します。
6	F	①	幹線の共同化推進	同業他社および異業種と幹線の共同化を推進し、実車率の向上を目指します。
PR欄				※A③/パレット化については社内幹線、得意先納品について路線使用分を除きほぼ完了しております。 ※A⑩のモーダルシフトについては特定荷主としてエコルールマーク、エコシップマークを取得する等、積極的に推進しております。